

SAMPLE

特集レポート No. 003

中古住宅流通政策の動向と 国内リフォーム市場のトレンド

Strictly Confidential



2017年 6月28日

はじめに

- 建築業界においては、足元では復興需要や貸家バブルにより新築市場が一時的に伸びているものの、国内の人口減少などを背景に長期的には低迷が続き、世帯数が減少に転じることで空き家問題も一層深刻化するとみられている
- こうしたことを背景に中古住宅流通の促進に期待が向けられているが、築年数が20年程度で価値がゼロとなる従来の建物評価などが原因で、欧米諸国と比べると国内市場は、全住宅に占める中古住宅流通のシェアが極端に小さいのが現状である
- 本レポートでは、政府の中古住宅流通政策とリフォーム市場のトレンドを整理することで、中古住宅市場の動向及び今後を展望する

本資料の流れ



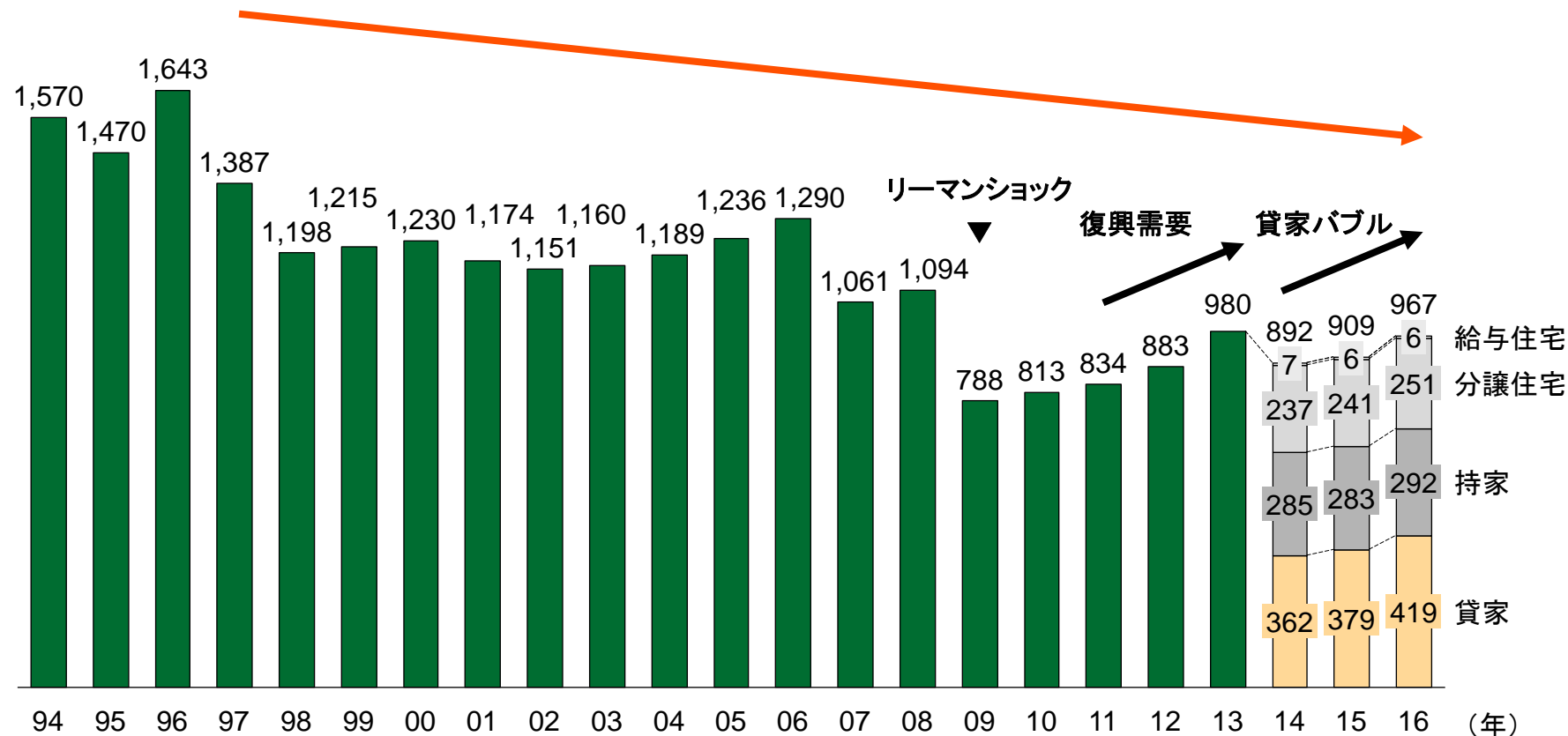
- I. 中古住宅市場の概況
- II. 中古住宅流通政策の動向
- III. リフォーム市場のトレンド

新築住宅着工戸数の長期減少トレンド

- 新築住宅着工数は、足元では復興需要や貸家バブルにより増加傾向にあるが、長期的には減少のトレンドが続いている

新築住宅着工戸数の推移

(単位: 千戸)



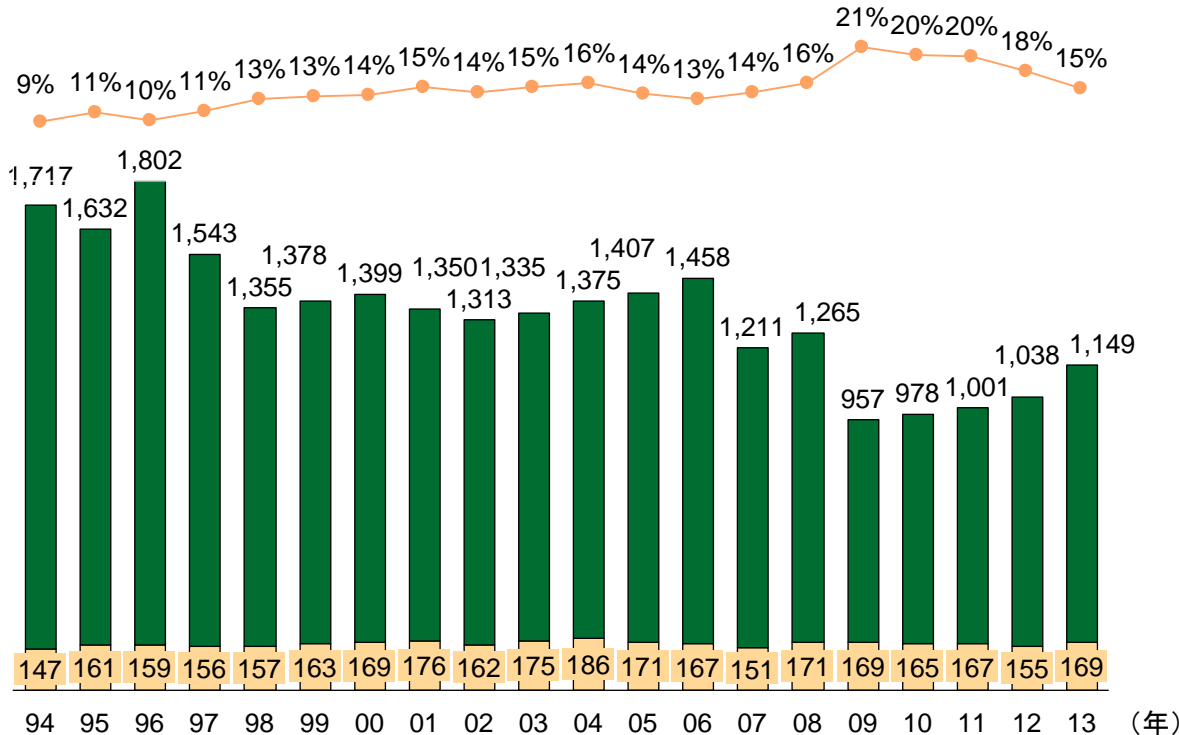
中古住宅の流通シェア

■ 中古住宅の流通シェアは15%程度であり、諸外国と比べてはるかに小さい

新築住宅着工戸数と中古住宅流通数の推移

(単位: 千戸)

■ 新築住宅着工戸数
■ 中古住宅流通数
● 中古住宅流通シェア

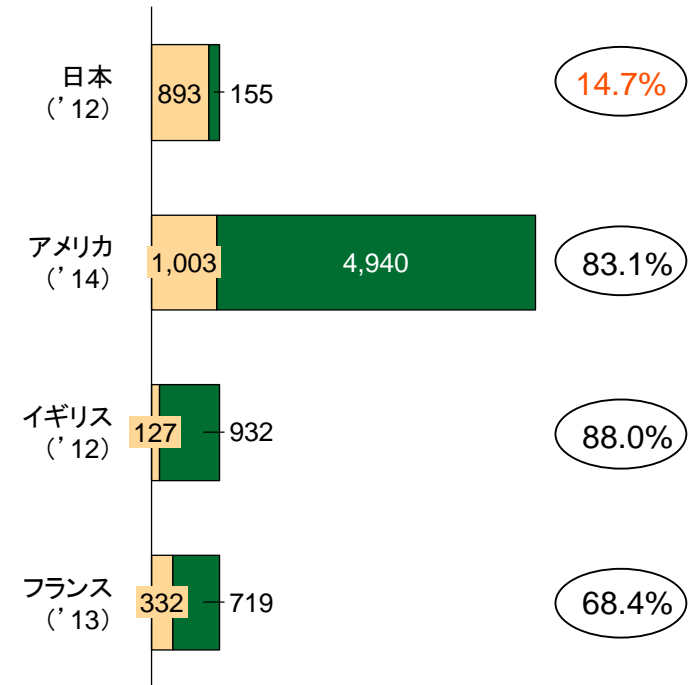


諸外国とのシェア比較

(単位: 千戸)

■ 新築着工戸数
■ 中古住宅流通数

中古住宅
流通シェア

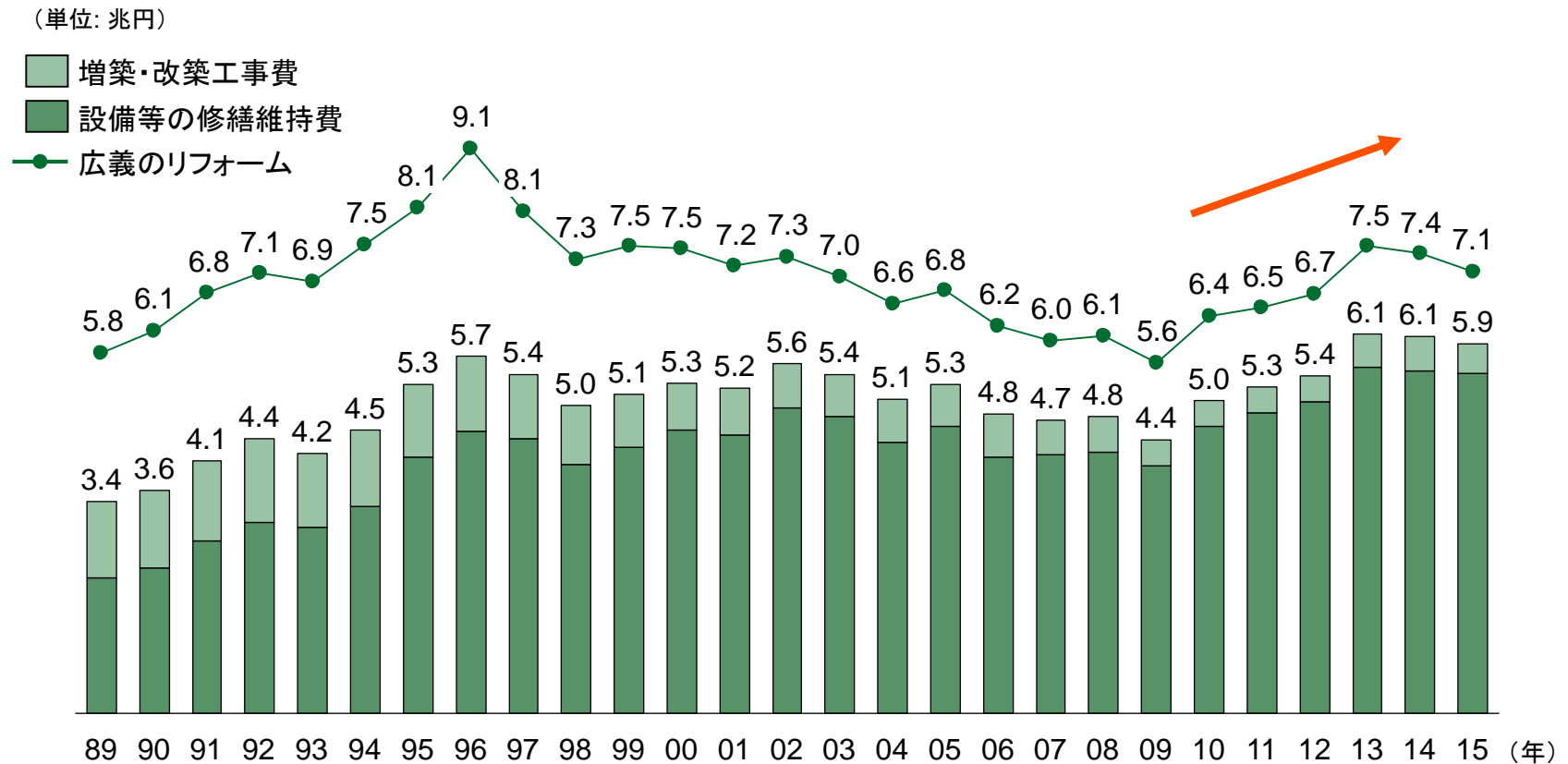


出所: 国土交通省「建築着工統計」、総務省統計局「住宅・土地統計調査」、国土交通省「中古住宅市場活性化・空き家活用促進・住み替え円滑化に向けた取組について」

近年リフォーム市場が拡大

- 住宅リフォーム市場は2010年代以降拡大傾向にある
 - 飽和状態にあるストック住宅の老朽化が進んでいることに加え、政府主導によるリフォーム推進などが要因

住宅リフォームの市場規模推移



注: *1. 住宅着工統計「新設住宅」に計上される増築・改築工事と、エアコンや家具等のリ

フォームに関連する耐久消耗材、インテリア商品等の購入費を含めたもの

出所: 公益社団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

